

回答日： 2017年2月23日

団体名	団体N	法人格	非公開	代表者名	非公開
所在地	非公開	電話番号	非公開	回答者名	非公開

本アンケートは内閣府事業「平成28年度東日本大震災の被災地におけるNPO等による復興・被災者支援の推進に関する調査」において行われるものです。ご回答いただく内容は調査資料としてまとめられ、一部公開される可能性があります。団体名と紐づけて公開することはありません。

1. 貴財団の助成規模について

（※事業規模や案件等の数字については、それがわかる資料をお送りいただく形でも結構です。）

ア. 2011年から今年度までの助成事業費規模をお教えてください（該当箇所に☑をお願いします）

単位：円	① ~1億	② ~5億	③ ~10億	④ ~30億	⑤ ~100億	⑥ 100億以上
2011	☑					
2012		☑				
2013		☑				
2014		☑				
2015	☑					
2016	☑					

イ. アのうち東日本大震災の復興・被災者支援案件の割合をお教えてください

（該当箇所に☑をお願いします）

	① ~5%	② ~15%	③ ~30%	④ ~50%	⑤ ~75%	⑥ 75%以上
2011						☑
2012						☑
2013						☑
2014						☑
2015						☑
2016						☑

ウ. 2011年から今年度までの助成事業案件数をお教えてください（該当箇所に☑をお願いします）

	① ~50件	② ~100件	③ ~200件	④ ~500件	⑤ ~1,000件	⑥ 1,000件以上
2011	☑					
2012			☑			
2013		☑				
2014		☑				
2015		☑				
2016		☑				

エ. ウのうち東日本大震災の復興・被災者支援案件の割合をお教えてください

	① ~5%	② ~15%	③ ~30%	④ ~50%	⑤ ~75%	⑥ 75%以上
2011						☑
2012						☑
2013						☑
2014						☑
2015						☑
2016						☑

オ. 1案件に対する最大の助成規模をお教えてください（助成年度を問わず最大金額。目安でも可）

団体ID _____

（調査団体記入）

	最大金額	助成年度
復興・被災者支援に関わる案件	10,000,000	2014
それ以外の案件		

カ. 今後も復興・被災者支援を行っていきたいと考えますか（該当箇所に☑をお願いします）

✓	行っていきたい（東北地方以外も含め）
	行っていきたい（東北地方のみ）
	行っていかない

2. 助成先の選定基準について（現時点での状況）

ア. 助成先団体の認知経路についてお教えてください（該当箇所に☑をお願いします）

	公募	公募以外
復興・被災者支援に関わる案件	✓	✓
それ以外の案件		

公募以外の場合は具体的な経路をお答えください：_____

イ. 助成先の分野・領域での限定があればお教え下さい（該当箇所に☑をお願いします）

	あり	なし
復興・被災者支援に関わる案件	✓	
それ以外の案件		

ありの場合は領域をお答えください：_____

※分野・領域としては、教育、文化、医療、等

ウ. 助成先の地域での限定があればお教えください（該当箇所に☑をお願いします）

	あり	なし
復興・被災者支援に関わる案件	✓	
それ以外の案件		

ありの場合は地域をお答えください：東北3県や福島の県外避難者支援を行っている団体

※東北三県 等

エ. 助成先の事業規模での限定や目安があればお教えてください（該当箇所に☑をお願いします）

	~1,000万円	~3,000万円	~5,000万円	~1億円	それ以上	限定なし
復興・被災者支援に関わる案件						☑
それ以外の案件						

3. 評価について

ア. 助成先団体選定において社会的インパクト評価の実施の有無を重視していますか

	はい
☑	いいえ

1000万円未満の助成において、程度と定義にもよるが、社会的なインパクトの評価の技量も時間もいなかで、導入をする際の混乱の方が不利益である。

重視している場合、評価形式で参考しているものがあればお教えてください

: _____

イ. 助成先団体の最終報告時において評価実施の有無を重視していますか

☑	はい
	いいえ

重視している場合、評価形式で参考しているものがあればお教えてください

: 事前に助成時の覚書に定めた事項に対する達成度合いの自己評価 _____

ウ. 今後、助成先団体が評価を実施していることを重要視しますか

	重視しない
☑	重視する
	今まで以上に重視する

重視する場合、貴財団で具体的に何か予定しているものがあればお教えてください

: _____

エ. 貴財団としても評価を実施する予定はありますか

	予定はない
☑	予定がある
	すでに実施している

予定がある・すでに実施している場合、具体的な方法があればお教えてください

: 助成金額の規模と対象者によりけり。事実上、地域の組織において、いわゆるインパクト評価を課すことは、現実的ではない。むしろ、社会的なインパクトを出すための支援プログラムの設計や、個別組織への支援をしない中で、評価を導入するのは、あまりに団体側へ負担を増すだけ。繰り返すが、単年度～複数年度で1000万円以上の助成をする際、並びに元々の事業予算規模が3000万円を超えるようなところへの導入は導入することが基盤強化になり奨励したい

アンケートは以上です。ご協力ありがとうございます。